

平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 4 (当初計画: No. 4)

東北森林管理局

取組名	木材利用の利用促進の取組 (継続)
流域名	三八・上北流域
重点事項番号	①-13、⑥-63
実施箇所及び実施日	三八上北森林管理署 幌内山国有林外 平成24年9月13日
取組の背景及び必要性	三八・上北流域の人工林面積は、民有林と国有林とを合わせて約100千haあり、従来からスギを中心とした木造住宅が多い地域であるため、地域材の利用促進を図るため実施した。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 地域住民を対象に公募を行い、素材生産現場、製材工場、青森県産材使用長寿命化木造住宅の見学等を実施し、森林から伐採され製品として利用されるまでの過程を通じ、地域材の利用促進を図っている。</p> <p>【平成24年度の取組内容】 一般から応募のあった8名に対し、素材生産現場、ブナの巨木、製材工場、青森県産材使用長寿命化住宅を見学し上北地域県民局の職員からあおり型県産材エコポイント制度の説明も行われ、立木が伐採され製品として利用されるまでの一連の流れの理解が図られた。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署 (公募・取りまとめ、車両準備、関係者への協力依頼等)
連携協働相手先・役割	上北地域県民局地域農林水産部 (あおり型県産材エコポイント制度の説明等) 上北森林組合 (製材工場見学協力等) 有限会社岩木建設 (モデルハウス見学協力等)
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>初めて見る素材生産現場での伐倒の迫力や高性能林業機械を使用した作業に興味と関心を持っていただき、大きな成果が得られた。</p> <p>木材がどのように生産されるかや間伐の必要性を一般の方々に知ってもらうことは重要であることから、今後も見学場所等について引き続き検討を要する。</p>
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>PR: 地元新聞社へ公募記事掲載依頼、署HPへの掲載等</p> <p>効果: ①森林や木の良さを実感していただく。 ②木造住宅の良さを実感していただく。 ③地域材を利用した木造住宅の増加を期待する。</p>

【 参 考 資 料 】

取 組 名	木材利用の利用促進の取組（継続）
-------	------------------



素材生産請負現場見学



日本一のブナの巨木「森の神」見学



製材工場見学



木質バイオマスボイラー見学



モデルハウスの見学

## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 5 (当初計画: No. 5)

東北森林管理局

取組名	低コスト作業システムの推進に向けた取組 (継続)
流域名	三八・上北流域
重点事項番号	②-21、③-31
実施箇所及び実施日	三八上北森林管理署 方平国有林 平成24年10月12日
取組の背景及び必要性	三八・上北流域における林業においては、伐採・搬出作業の低コスト化が重要な課題となっており、高性能林業機械等の普及・定着に向けて民国一体となって取り組んでいる。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 低コスト作業システムの推進を図るため、三八・上北流域活性化センターと連携し、林業関係者を対象に現地検討会を実施している。</p> <p>【平成24年度の取組内容】 国有林内をフィールドに昨年度制定された森林作業道作設指針に基づく森林作業道の考え方、バックホウによる作設、軟弱な路盤に対応する枝条等の敷設、洗い越し、丸太での簡易な横断校など説明しながら現地検討会を開催した。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署、局販売課 (企画、事前踏査、関係機関との連絡調整、会場準備等)
連携協働相手先・役割	三八・上北流域林業活性化センター (参加者の取りまとめ)
取組の結果、反響、今後の課題等	低コストで壊れにくい森林作業道の普及や効率的な作業仕組みが見学でき大きな成果が得られた。 今後も継続して実施することにより、より一層の普及・定着が図られることから、継続を要望する意見が寄せられた。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR: 地元新聞社へプレスリリース 効果: 作業の効率化・低コスト化による間伐面積の増加が期待される。

【参考資料】

取組名 低コスト作業システムの推進に向けた取組（継続）



開会式の模様



森林作業道作設の実演



枝条等を利用した路盤強化の検討



丸太を利用した簡易な横断工

## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 6 (当初計画: No. 6)

東北森林管理局

取組名	緑の雇用担い手対策事業に係るフィールドの提供 (継続)
流域名	三八・上北流域
重点事項番号	③-32
実施箇所及び実施日	
取組の背景及び必要性	緊急雇用対策により林業への就業・定着を目的とした本制度に対し、林業事業体の育成を図るためにも積極的に支援する必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 当署では、平成18年度から研修のフィールドとして提供してきており、林業事業体からの申請に対し、協定を締結のうえフィールドを提供し積極的に支援を行ってきた。</p> <p>【平成24年度の取組内容】 林業事業体から緑の雇用担い手対策事業に係る申請はなかった。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署 (協定締結の準備、予定箇所の審査、フィールドを提供)
連携協働相手先・役割	—
取組の結果、反響、今後の課題等	本事業に対して国有林がフィールドを提供しているということを利用しPRする必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR: HPにより公開 (林野庁、局) 効果: 緑の雇用担い手対策事業の理解が得られ、活用が図られる。

## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 7 (当初計画: No. 7)

東北森林管理局

取組名	森林ボランティアパトロール員等による登山者等への保護巡視・啓発活動(継続)
流域名	三八・上北流域
重点事項番号	⑤-54
実施箇所及び実施日	十和田八幡平国立公園 三八上北森林管理署管内国有林
取組の背景及び必要性	近年、登山者の大衆化に伴い、人為による植生の荒廃等が懸念されることから、保護巡視活動及び啓発活動を行う必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 森林ボランティアパトロール員及びグリーン・サポート・スタッフにより、高山植物等の保護巡視活動及び啓発活動を実施してきている。</p> <p>【平成23年度の取組内容】 森林ボランティアパトロール員等により、人為による植生荒廃や森林機能の低下の防止を図るため、登山者等に対し、保護巡視活動及び啓発活動を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署 (公募・身分証明書交付式の準備等)
連携協働相手先・役割	—
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>森林パトロールや森林環境美化活動を通じ、高山植物等の保護、人為による植生荒廃等の防止、不法投棄等の防止に貢献した。</p> <p>森林ボランティアパトロール員やグリーン・サポート・スタッフが国有林を巡視していることをPRする必要がある。</p>
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>PR: 地元新聞社へプレスリリース</p> <p>効果: 高山植物等の保護、人為による植生荒廃等の防止が図られる。</p>

【 参 考 資 料 】

取 組 名	森林ボランティアパトロール員等による登山者等への保護巡視・啓発活動（継続）
-------	---------------------------------------



辞令交付の様様



安全指導の様様



安全指導の様様



衛星電話の訓練の様子

## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 8 (当初計画: No. 8)

東北森林管理局

取組名	ふれあいの森・遊々の森における森林環境教育（継続）
流域名	三八・上北流域
重点事項番号	⑥－61
実施箇所及び実施日	三八上北森林管理署 谷地国有林 ・ふれあいの森（田中建設工業（株））平成24年6月2日 ・ふれあいの森（青森県生協連）平成24年6月10日 ・ふれあいの森（おいらせ知の会）平成24年6月30日 ・遊々の森（青森県立三本木高校附属中学校） 平成24年9月13日
取組の背景及び必要性	地域住民が自然に親しみ交流を図るためのフィールドを提供し、林業体験活動や森林環境教育等を通じて、森林の役割やその重要性について、理解の醸成を図るため実施している。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】          「ふれあいの森」の協定を締結している3団体が実施する植樹活動等を支援するほか、森林教室等の森林環境教育を実施してきた。          また、平成20年度末に、青森県立三本木高校附属中学校と「遊々の森（三本木 夢と生命の森）」の協定を締結した。</p> <p>【平成24年度の取組内容】          「ふれあいの森」における植樹指導や森林教室等の実施、「遊々の森」における森林環境学習を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署 （企画・立案の支援・協力、道具類準備、植樹指導等）
連携協働相手先・役割	青森県生活協同組合連合会、田中建設工業（株）、おいらせ知の会、青森県立三本木高等学校・附属中学校 （企画・立案、植樹活動等）
取組の結果、反響、今後の課題等	林業体験活動等の森林とのふれあいを通じ、森林・林業に対する理解が深まった。 また、植樹活動等の林業体験活動は青少年の育成に必要であることから、フィールドの提供の拡大及び支援の強化を要望する意見があった。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：地元新聞社への記事掲載依頼、署HPへ掲載等 効果：植樹活動等の森林とのふれあいを通じて、森林の役割やその重要性について、理解の醸成が図られる。

【参考資料】

取組名 ふれあいの森・遊々の森における森林環境教育（継続）

○田中建設工業（株）



○青森県生活協同組合連合会



○おいらせ<sup>とも</sup>知の会



## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 9 (当初計画: No. 9)

東北森林管理局

取組名	松見の滝周辺の森林散策（継続）
流域名	三八・上北流域
重点事項番号	⑥－61
実施箇所及び実施日	三八上北森林管理署 黄瀬山国有林 平成24年10月20日
取組の背景及び必要性	地域住民に対し、森林散策等の自然に親しむ機会を提供することにより、森林をより身近に感じていただき、その役割や重要性について、理解の醸成を図るため実施している。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】                      地域住民を対象に参加者を公募し、国有林内の景勝地「松見の滝」までの道のりを散策し、森林の役割やその重要性についての理解の醸成を図ってきた。</p> <p>【平成24年度の取組内容】                      応募があった30名に対し、国有林内の景勝地「松見の滝」までの道のりを、当署職員が周辺の樹木や草本類及び森林についての説明等を交えながら、森林散策を行った。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署（企画、事前踏査、公募掲載依頼、車両準備、傷害保険加入手続き、資料作成等）
連携協働相手先・役割	株式会社コバヤシ （社有地の通行許可等）
取組の結果、反響、今後の課題等	森林散策や当署の職員とのふれあいを通じ、国有林をより身近に感じていただくことができ、大きな成果が得られた。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：地元新聞社へ公募記事掲載依頼、署HPへの掲載等 効果：森林の役割やその重要性について理解を深めていただくことにより、森林・林業及び国有林に対する理解と協力が図られる。

【参考資料】

取 組 名 松見の滝周辺の森林散策（継続）



出発前のストレッチ



力を合わせ倒木を乗り越え



難所を下り



全員揃って記念写真



色づき始めた松見の滝

## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 10 当初計画：No. 10)

東北森林管理局

取組名	十和田市環境まつりへの参加・協力（継続）
流域名	三八・上北流域
重点事項番号	⑥－63
実施箇所及び実施日	
取組の背景及び必要性	<p>十和田市では、市民の緑化意識の高揚と市民生活の向上に寄与することを目的として、毎年「環境緑化まつり」を開催している。</p> <p>当署としても、森林・林業及び国有林をPRする絶好の機会と捉え、毎年、参加・協力をしている。</p>
取組の内容	<p><b>【これまでの取組内容】</b>                  十和田市が主催する春まつりである「十和田市環境緑化まつり」に参加し、県・上北地方林業振興協議会及び森林組合等と連携して森林コーナーを設定し、地域材の利用促進、森林・林業及び国有林のPRを行ってきた。</p> <p><b>【平成24年度の取組内容】</b>                  上北地方林業振興協議会が不参加のため傘下である当署も参加しなかった。</p>
国有林担当部局・役割	
連携協働相手先・役割	
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>上北地方林業振興協議会の今後の活動を見据えて取り組んで行く。</p>
PRの実施状況及びその期待する効果	

## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 11 当初計画：No. 11)

東北森林管理局

取組名	森林・林業及び国有林のPRイベント開催（継続）
流域名	三八・上北流域
重点事項番号	⑥－63
実施箇所及び実施日	青森県十和田市 三八上北森林管理署庁舎敷地内 平成24年6月9日
取組の背景及び必要性	従来から「森林ふれあい祭」として同様のイベントを実施していたものを、平成19年3月の署庁舎の新築を契機に、地域住民に森林・林業及び国有林を広くPRすることを目的に実施している。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】</p> <p>県・市・森林組合等の共催により、署庁舎敷地内において木工体験教室等の様々な催しを行い、木のぬくもりにふれあう機会を提供してきた。</p> <p>【平成24年度の取組内容】</p> <p>「森林の恵みの環境祭」と題し、山遊びスタンプラリー（丸太ボーリング、丸太切り、丸太釣り等）林産物販売、アートの森（樹書展・チェンソーアート等）、等の様々な催しを行い、木のぬくもりにふれあう機会を提供するとともに、国有林PRパネルの展示等により、森林・林業及び国有林のPRを行った。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署（企画、共催機関との連絡調整、公告宣伝、会場準備外）
連携協働相手先・役割	上北森林組合・上十三地区森林組合・おいらせ知の会・青い森カービングクラブ・（社）ガールスカウト日本連盟青森県第10団・上北県民局・十和田市（各コーナーの出展準備外）
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>日頃ふれあうことの少ない、木のぬくもりや森林の恵みに接し、木の良さや国有林をPRすることができ、大きな成果が得られた。</p> <p>今後とも、興味をいだかせるような新たな取組や広告宣伝の方法等について検討する必要がある。</p>
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>PR：地元新聞社へプレスリリース、市広報誌掲載、新聞折込チラシ</p> <p>効果：森林・林業及び国有林への理解と協力が期待される。</p>

【 参 考 資 料 】

取 組 名 森林・林業及び国有林のPRイベント開催（継続）



開会式の模様



丸太釣り



積み木タワー



山菜販売



三本木高等学校附属中学校吹奏楽



チェーンソーアートオークション

## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 12 当初計画：No. 12)

東北森林管理局

取組名	木質バイオマス資源の利用促進への取組（継続）
流域名	三八・上北流域
重点事項番号	①－13
実施箇所及び実施日	
取組の背景及び必要性	近年の地球温暖化防止・循環型社会の形成等、バイオマス資源の利活用推進の高まりの中で、地域の伐採跡地等の残存する木質資源の有効活用を図る。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 平成21年9月に発足した「上北地域バイオマス普及調査研究会」と連携し、国有林の情報を発信し民国の情報を共有することにより、地域におけるバイオマス資源量を的確に把握し有効活用の方法等について検討する。</p> <p>【平成24年度の取組内容】 三八・上北流域林業活性化センター及び上北地域バイオマス普及調査研究会による取組がなく活動しなかった。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署 (研究会への参加、国有林内の資源量の把握等)
連携協働相手先・役割	三八・上北流域林業活性化センター、上北地域県民局、各市町村、各森林組合、林業事業体等 (関係機関との連絡調整、研究会への参加)
取組の結果、反響、今後の課題等	今後とも、木質バイオマス資源量等の国有林における情報については、積極的に提供し、木質バイオマスエネルギーの有効活用に努める。
PRの実施状況及びその期待する効果	

## 平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 13 当初計画：No. 13)

東北森林管理局

取組名	民国連携による間伐材の販売や施業連携の促進（継続）
流域名	三八・上北流域
重点事項番号	②-22
実施箇所及び実施日	三八上北森林管理署 谷地国有林 事業期間 平成24年9月10日～平成24年11月15日
取組の背景及び必要性	当流域の人工林資源は充実期を迎えており、その資源を活かし林業を復権させる態勢づくりが必要である。そのため周辺の民有林と連携することにより、間伐における低コスト化が図られ、間伐収入の確保により間伐の促進が期待される。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 当流域では、平成21年12月に「間伐材販売連携研究会」を立ち上げ、民国が連携して取り組む旨の意思統一がなされた。</p> <p>【平成24年度の取組内容】 今年度は、十和田市法量地区において民国が連携した間伐を行うため、森林作業道等の相互利用及び共同山元土場等へ巻立てを行い、大ロットでの有利販売の連携の取組を行った。</p>
国有林担当部局・役割	東北森林管理局青森事務所、三八上北森林管理署 (分析・検証関係機関との対応等)
連携協働相手先・役割	上北森林組合（施業団地の取りまとめ）
取組の結果、反響、今後の課題等	今年度4箇所を実施を予定していたが、民有林の取りまとめの状況から2箇所での実施となった。このことから今後は国有林の事業地の情報提供を出来るだけ早めに行い、連携できる箇所の取りまとめがスムーズに出来るよう情報提供を行う。
PRの実施状況及びその期待する効果	民国が連携し団地化することによって作業道や土場の共有ができ大ロットでの有利販売が可能となり、森林所有者への利益が図られ、民有林の間伐の推進が期待される。

【参考資料】

取組名	民国連携による間伐材の販売や施業連携の促進（継続）
-----	---------------------------

共同土場の様子

